

## 枚方市環境基本計画の取り組み状況について

### 1. 枚方市環境基本計画の概要について

#### (1) 策定期等

枚方市環境基本計画は、枚方市環境基本条例に基づき環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めるために平成 13 年 2 月に策定した。計画期間は、平成 13 年度から 22 年度までの 10 年間である。

#### (2) 望ましい環境像

- ①良好な環境が確保され、これを将来の世代へと継承していくまち
- ②環境への負荷が少なく、持続的に発展していくまち
- ③多様な生態系と豊かな自然が保全されている人と自然とが共生するまち
- ④地球環境保全を積極的に推進するまち

#### (3) 基本方針及び環境目標

枚方市環境基本計画の望ましい環境像を実現するために、6 つの基本方針を定め、15 の環境分野と環境目標を設定している。

##### ①人の健康の保護及び生活環境の保全

環境分野	環境目標
大気・音環境	澄んだ空気と静けさを確保し、大気汚染と騒音について環境基準の達成をめざす。
水環境	清らかで豊かな水の流れを確保し、水質汚濁について環境基準の達成をめざす。
土壌・地盤環境	土壌の安全性を確保するとともに、地下水位の低下を防ぎ地盤の安定を図る。
化学物質	化学物質の有害性による悪影響を防止する。

##### ②人と自然との共生

環境分野	環境目標
生態系	里山、水辺地などの自然を守り、健全な生態系を維持・回復する。
自然とのふれあい	自然とのふれあいを確保する。

③安全で良好な都市環境の形成

環境分野	環境目標
都市基盤	地域の特性を活かし、環境に配慮した都市環境を創造する。
農	農を活かしたまちづくりを進める。

④快適な環境の創造

環境分野	環境目標
水辺と緑	水辺と緑を活かした快適な生活空間を創造する。
まち並み	良好なまち並みを保つなど、まちの美しさを高める。
歴史的文化的環境	歴史的文化的環境を守り育てる。

⑤循環を基調とする社会システムの実現

環境分野	環境目標
廃棄物	ごみの発生抑制を徹底し、再使用・再生利用など、多様な資源循環の輪を広げ、焼却ごみの半減化をめざす。
エネルギー	省エネルギーに努めるとともに、自然エネルギーを利用する。
水循環	環境保全上健全な水循環を確保する。

⑥地球環境の保全

環境分野	環境目標
地球環境	二酸化炭素の排出量を減らし地球温暖化の防止に努めるなど、地球環境の保全に貢献する。

(4) 実施計画

枚方市環境基本計画に掲げられた施策体系に基づき、具体的に施策・事業を推進するための実施計画を策定している。

- 枚方市環境基本計画第1次実施計画（計画期間：平成13年度～15年度）
- 枚方市環境基本計画第2次実施計画（計画期間：平成16年度～18年度）
- 枚方市環境基本計画第3次実施計画（計画期間：平成19年度～22年度）

## 2. これまでの実績と社会状況等の変化

### 【基本方針 人の健康の保護及び生活環境の保全】

大気汚染、水質汚濁、騒音など公害を防止するとともに、澄んだ空気、清らかで豊かな水や静けさの確保など、より良好な環境をめざした施策を展開します。

#### (1) 大気・音環境

##### 環境目標

澄んだ空気と静けさを確保し、大気汚染と騒音について環境基準の達成をめざす。

##### 実績

###### ■自動車公害対策の推進

- 広報ひらかたや FM 放送等によりノーマイカーデーの啓発活動を実施
- 自動車駐車場の設置者に対して、アイドリングストップの指導を実施
- 市公用車にアイドリングストップステッカーを貼付
- 「枚方市低公害車等導入指針」に基づき公用車に低公害車等を導入（平成 21 年度 29.6%）

###### ■工場・事業場等公害対策の推進

- 公害関係法令等に基づき申請書類の審査や立ち入り検査を実施
- 特定建設作業を行う事業者に対して、作業に伴う騒音・振動の低減化を図るよう指導を実施

###### ■環境監視の充実

- 産業廃棄物の野焼き行為防止パトロールを実施
- 一般環境大気測定局 3 ヲ所（平成 20 年度までは 4 ヲ所）、自動車排出ガス測定局 3 ヲ所で大気環境を常時監視
- 大気汚染の常時監視データのホームページによる情報提供を実施
- 環境騒音モニタリング調査等を実施

##### 社会状況等の変化

###### ■国・大阪府の動き

- 平成19年10月に「大阪府生活環境の保全等に関する条例」の改正に伴う流入車規制

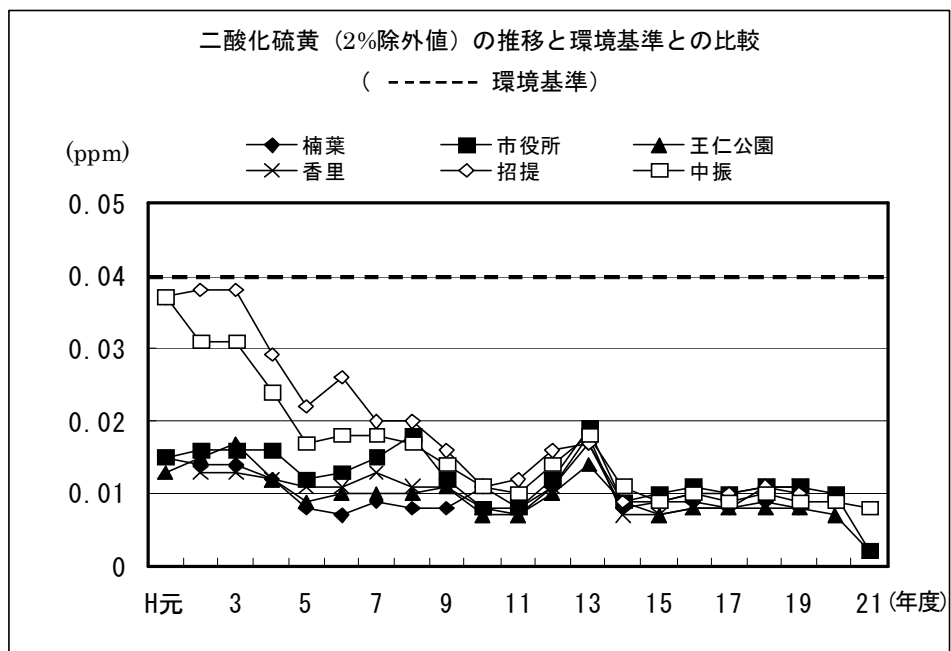
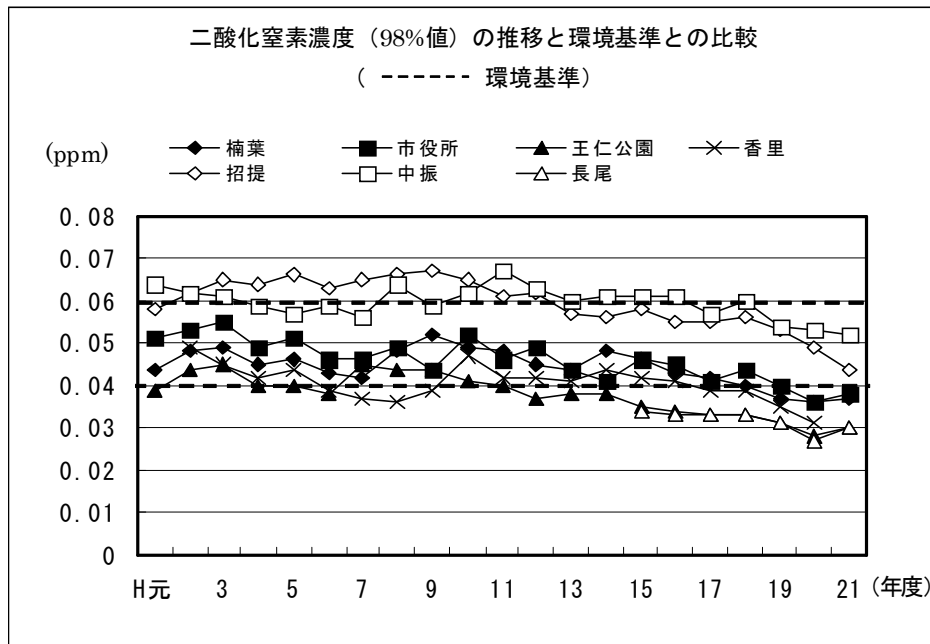
###### ■市の動き

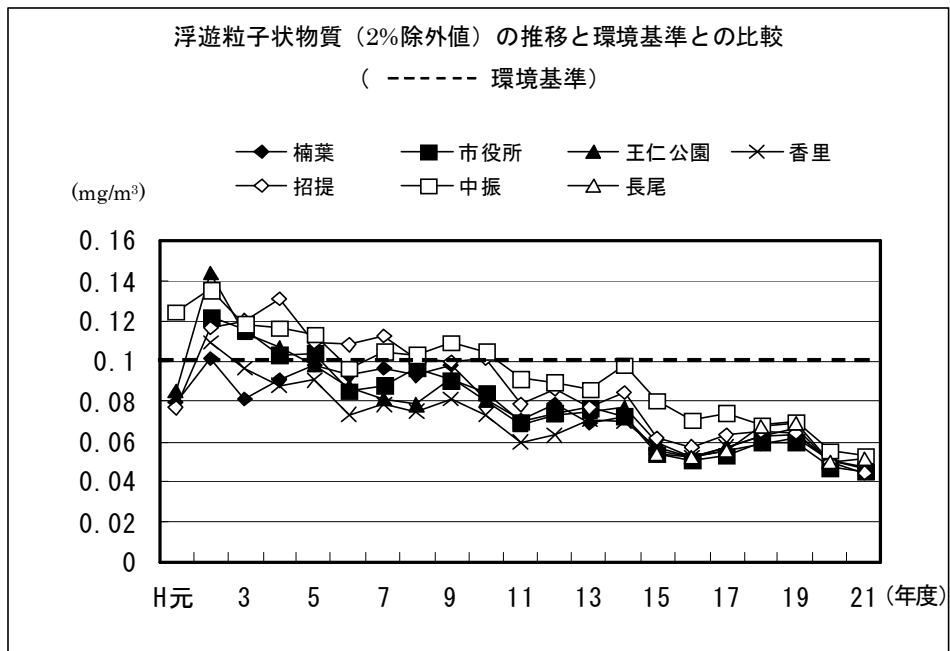
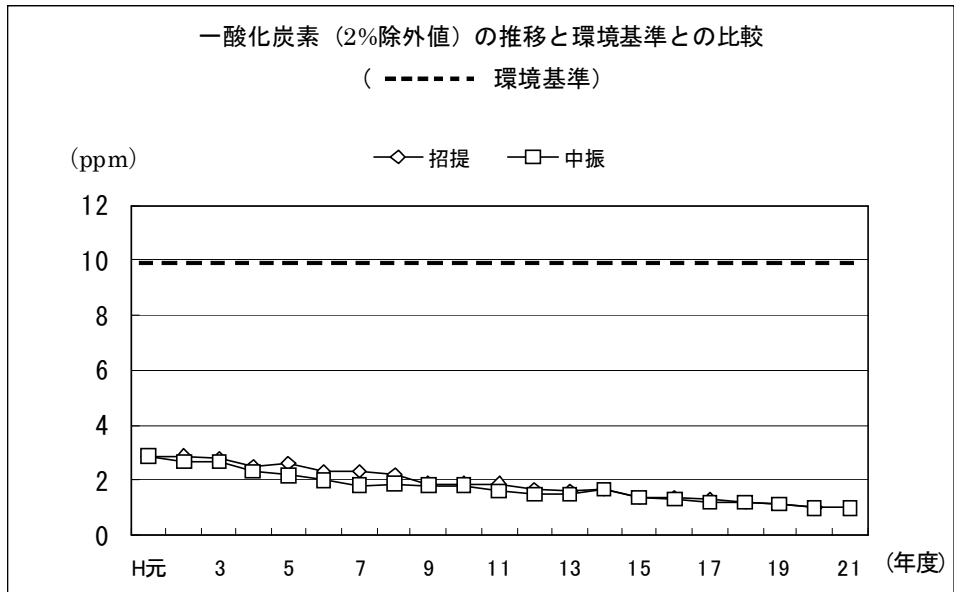
- 平成14年3月に「枚方市低公害車等導入指針」を策定
- 平成20年10月に「枚方市建築物の解体工事に伴う事前周知等に係る指導に関する要綱」を施行

進捗状況

■大気に係る環境基準

- 二酸化窒素、二酸化硫黄及び一酸化炭素については、環境基準を達成
- 浮遊粒子状物質については、長期的評価では環境基準を達成したが、短期的評価では黄砂の影響により環境基準を達成できなかった。
- 光化学オキシダントについては、環境基準を達成できなかった。





## ■騒音に係る環境基準

○一般地域は、全ての地点で環境基準を達成（平成21年度）

地域の区分	地点数	昼 間			夜 間		
		環境基準値	測定値	適合地点数 (適合率%)	環境基準値	測定値	適合地点数 (適合率%)
A 地域 専ら住居の用に供される地域	12	55dB	39～ 47dB	12 (100%)	45dB	32～ 39dB	12 (100%)
B 地域 主として住居の用に供される 地域	6	55dB	44～ 46dB	6 (100%)	45dB	35～ 45dB	6 (100%)
C 地域 相当数の住居と併せて商業、工 業等の用に供される地域	6	60dB	41～ 50dB	6 (100%)	50dB	39～ 45dB	6 (100%)
全 地 域	24	—	39～ 50dB	24 (100%)	—	32～ 45dB	24 (100%)

○道路に面する地域は、昼夜ともに達成できたのは87.9%、昼のみ達成は6.7%、夜のみ達成は0.1%で、5.2%については、昼夜ともに環境基準を超過（平成21年度）

道路の 種別	評価区 間延長 (km)	評価 区間	評価対象 住居等戸数	昼夜とも 基準値満足	昼のみ 基準値満足	夜のみ 基準値満足	昼夜とも 基準値超過
一般 国道	24.2	10	4,776 戸 (100%)	3,352 戸 (70.2%)	707 戸 (14.8%)	33 戸 (0.7%)	684 戸 (14.3%)
府道	53.7	18	20,796 戸 (100%)	19,138 戸 (92.0%)	1,019 戸 (4.9%)	4 戸 (0.0%)	635 戸 (3.1%)
全体	77.9	28	25, 572 戸 (100%)	22,490 戸 (87.9%)	1,726 戸 (6.7%)	37 戸 (0.1%)	1,319 戸 (5.2%)

## (2) 水環境

### 環境目標

清らかで豊かな水の流れを確保し、水質汚濁について環境基準の達成をめざす。

### 実績

#### ■水質汚濁防止対策の推進

- 公共下水道の整備（平成 21 年度普及率 92.3%）
- 生活排水に関する啓発事業の実施
- 公害関係法令等に基づき申請書類の審査や立ち入り検査を実施
- ゴルフ場に対する農薬使用の適正化指導を実施

## ■環境監視の充実

- 河川水質調査の実施
- 水質汚濁監視データのホームページによる情報提供を実施

## 社会状況等の変化

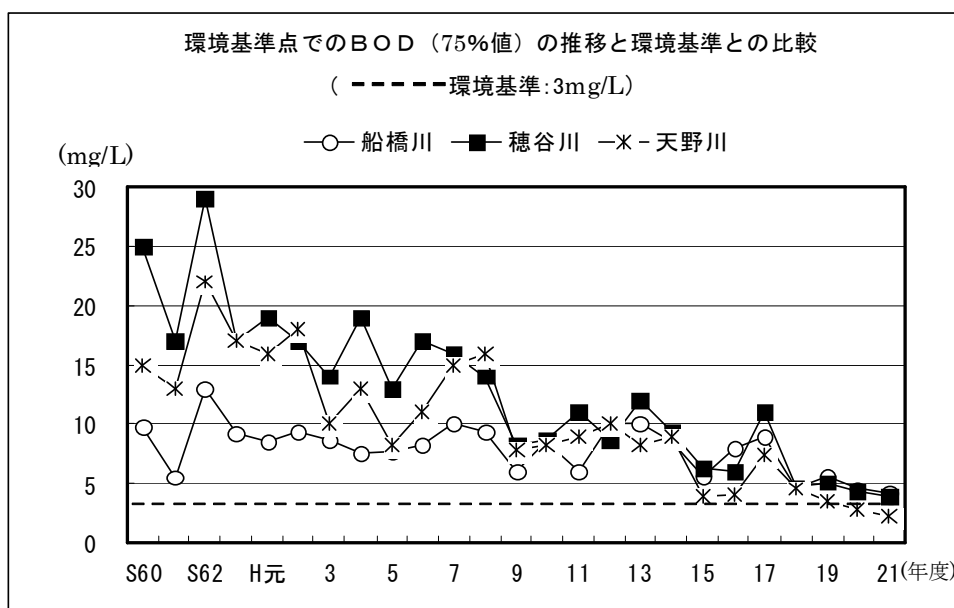
### ■市の動き

- 平成16年9月に「枚方市生活排水処理基本計画」を策定
- 平成18年4月に北部処理場を廃止し、淀川左岸流域下水道渚水みらいセンターで処理を開始

## 進捗状況

### ■水質に係る環境基準

- 生物化学的酸素要求量（BOD）については、環境基準点 3 地点（船橋川、穂谷川及び天野川の流末）のうち、天野川で環境基準を達成したが、それ以外は環境基準を達成できなかった。（平成 21 年度）
- 浮遊物質（SS）及び溶存酸素量（DO）については、環境基準点 3 地点で環境基準を達成（平成 21 年度）
- 水素イオン濃度（pH）及び大腸菌群数については、環境基準点 3 地点で環境基準を達成できなかった。（平成 21 年度）
- カドミウム、全シアンなどの健康項目については、すべての地点で環境基準を達成（平成 21 年度）



### (3) 土壌・地盤環境

#### 環境目標

土壌の安全性を確保するとともに、地下水位の低下を防ぎ地盤の安定を図る。

#### 実績

##### ■土壌・地下水汚染の防止

- 公害関係法令等に基づき申請書類の審査や立ち入り検査を実施
- 事業者に対する土壌・地下水汚染対策の指導を実施
- 工場・事業場に対する土壌汚染未然防止の指導の実施

##### ■地下水の保全

- 地下水採取量の削減の指導を実施

##### ■環境監視の充実

- 水準測量を実施
- 地下水の水質調査を実施

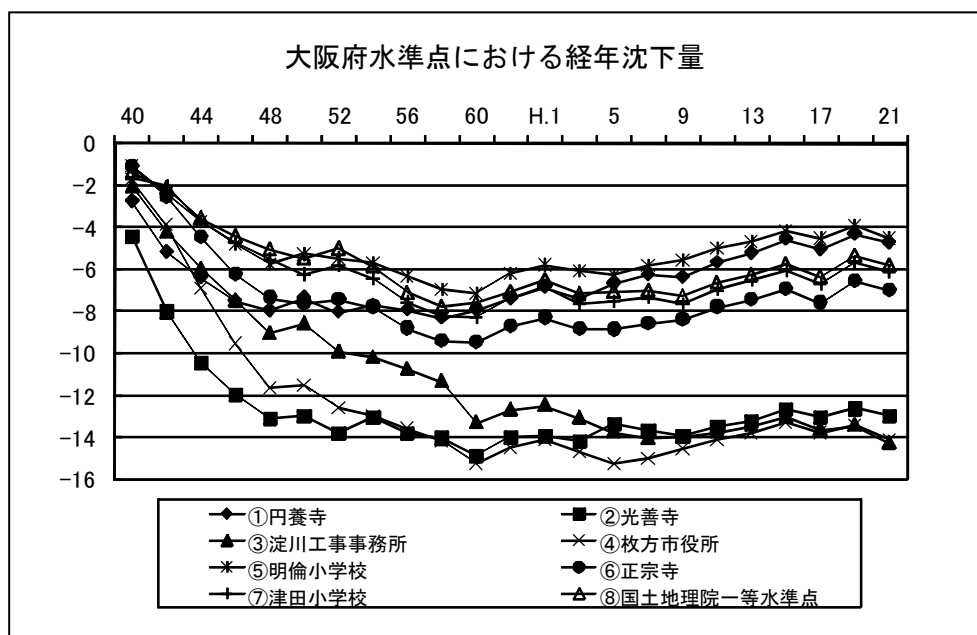
#### 社会状況等の変化

##### ■国・大阪府の動き

- 平成15年2月に「土壌汚染対策法」が施行
- 平成22年4月に「改正土壌汚染対策法」が施行

#### 進捗状況

- 近年の地盤沈下は微少量の変動が見られる程度





#### (4) 化学物質

##### 環境目標

化学物質の有害性による悪影響を防止する。

##### 実績

###### ■化学物質対策の推進

- 公害関係法令等に基づき申請書類の審査や立ち入り検査を実施
- 工場・事業場に対する有害物質削減の指導を実施
- ダイオキシン類排出削減の指導を実施
- ゴルフ場に対する農薬使用の適正化指導を実施

###### ■環境監視の充実

- 有害物質の使用状況調査を実施
- 化学物質調査を実施

##### 社会状況等の変化

###### ■国・大阪府の動き

- 平成13年4月からPRTR制度がスタート
- 平成16年5月に「大気汚染防止法」の改正に伴う揮発性有機化合物の規制
- 平成18年10月に「大気汚染防止法」の改正に伴うアスベストの規制

##### 進捗状況

###### ■ダイオキシン類に係る環境基準

- 大気、地下水、土壌において、環境基準を達成（平成21年度）

###### ■有害大気汚染物質に係る環境基準

- ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンについては、環境基準を達成（平成21年度）
- 指針値が設定されているアクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン及び1,3-ブタジエンについては、指針値を下回っていた。（平成21年度）

### 【基本方針 人と自然との共生】

河川などの水辺地、農地、里山等の自然環境の保全、生物の生息・生育地の確保、人と自然との触れ合いの場づくりなど、生物の多様性の確保と、人と自然とのふれあいをめざした施策を展開します。

## (5) 生態系

### 環境目標

里山、水辺地などの自然を守り、健全な生態系を維持・回復する。

### 実績

#### ■里山の保全

- 枚方市里山保全活動補助金の交付
- 森林ボランティアの育成
- 津田山の整備

#### ■水辺地の保全

- 自然巡回路の整備
- 水面廻廊の整備

#### ■生物の生息・生育地の保全

- 野生動植物の保護
- 自然環境調査の実施

### 社会状況等の変化

#### ■国・大阪府の動き

- 平成 19 年 11 月に「第三次生物多様性国家戦略」が策定
- 平成 20 年 5 月に「生物多様性基本法」が公布

#### ■市の動き

- 平成 15 年 6 月に「枚方市東部地域里山保全基金」を創設
- 平成 16 年 11 月に「枚方市里山保全構想」を策定
- 平成 18 年 5 月に「枚方市里山保全基本計画」を策定
- 平成 18 年 5 月に「氷室地域まちづくり構想」を策定

## (6) 自然とのふれあい

### 環境目標

自然とのふれあいを確保する。

### 実績

- ふれあいの場と機会の確保
  - 学校ビオトープ池の整備
  - 自然巡回路の整備
  - 都市公園等の自然環境保全に資する公共施設の整備
- 自然環境保全意識の高揚
  - 自然観察会の実施

### 【基本方針 安全で良好な都市環境の形成】

環境に配慮した都市基盤の整備、環境への負荷の少ない交通体系の整備、農を活かしたまちづくりなど市民が安心して暮らせる環境にやさしいまちをめざした施策を展開します。

## (7) 都市基盤

### 環境目標

地域の特性を活かし、環境に配慮した都市環境を創造する。

### 実績

#### ■環境に配慮した都市基盤の整備

- やすらぎの杜の整備
- 東部清掃工場の整備
- 公共下水道の整備
- 枚方市バリアフリー構想の策定
- 透水性舗装の実施

#### ■環境に配慮した開発の誘導

- 都市景観形成要綱に基づく景観誘導
- 建築協定制度の普及・啓発（平成 21 年度 34 地区）
- 枚方市環境影響評価条例の運用

#### ■環境への負荷の少ない交通体系の整備

- コミュニティバスの運行促進
- バス IC カードシステム導入補助
- 公共交通の利用促進
- バスタウンマップの作成
- ノーマイカーデーの推進

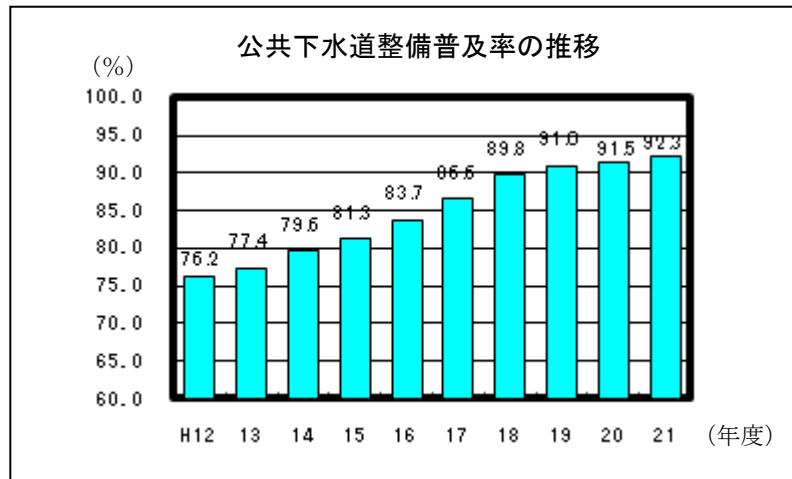
### 社会状況等の変化

#### ■市の動き

- 平成 17 年 6 月に「枚方市開発事業等の手続等に関する条例」の制定
- 平成 20 年 3 月にやすらぎの杜が完成
- 平成 20 年 12 月に東部清掃工場が本格稼働

## 進捗状況

○平成 21 年度の公共下水道の整備普及率 92.3%



## (8) 農

### 環境目標

農を活かしたまちづくりを進める。

### 実績

#### ■農地の保全

- レンゲ栽培米の普及促進
- 大阪エコ農産物認証制度の推進
- 穂谷地区の農業振興

#### ■農と市民の交流

- 市民農園やふれあいツアーの充実
- 農業祭の開催
- 農業ファンクラブ活動の推進
- 市内農産物の直販
- 市内農産物の学校給食への利用促進
- ひらかた食育カーニバルの開催

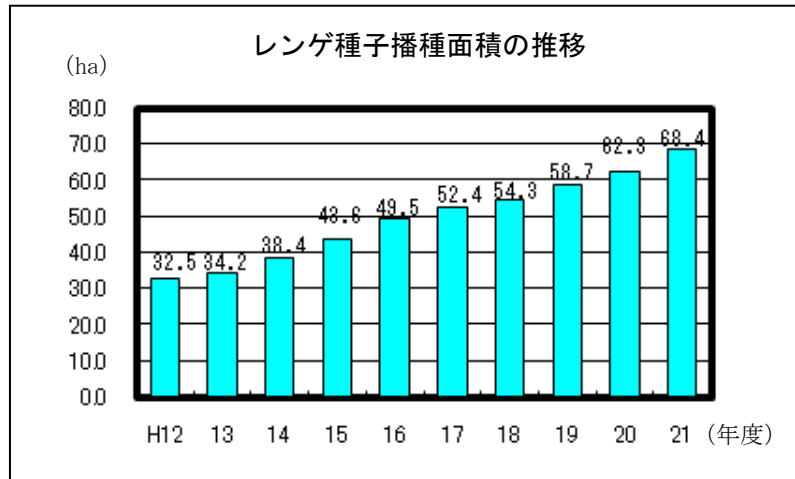
### 社会状況等の変化

#### ■市の動き

- 平成 20 年 3 月に「枚方市食育推進計画」を策定

進捗状況

○平成 21 年度のレンゲ種子播面積 68.4ha



### 【基本方針 快適な環境の創造】

緑の保全と創造、水辺空間の整備、地域の特性を活かした良好な都市景観づくり、歴史文化資源の保全と活用など快適環境に関する施策を展開します。

## (9) 水辺と緑

### 環境目標

水辺と緑を活かした快適な生活空間を創造する。

### 実績

#### ■緑の保全と創造

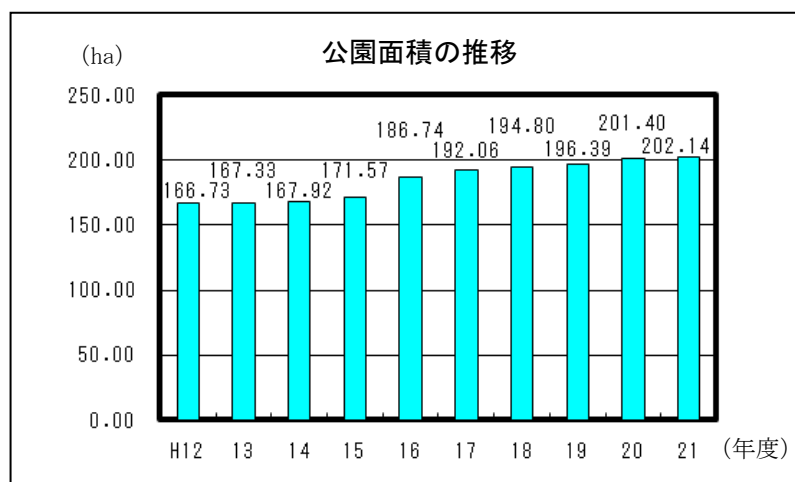
- 都市公園等の自然環境保全に資する公共施設の整備
- 自然巡回路の整備
- 津田山の整備
- 緑のカーテン
- 学校の緑化の推進
- 緑化の啓発
- 桜の名所ネットワークづくり

#### ■水辺とのふれあいの促進

- 水面廻廊の整備
- 学校ビオトープ池の整備
- 河川堤防のクリーンアップと桜の植樹

### 進捗状況

- 平成 21 年度の公園面積 202ha



## (10) まち並み

### 環境目標

良好なまち並みを保つなど、まちの美しさを高める。

### 実績

#### ■良好な景観形成の推進

- 都市景観形成要綱に基づく景観誘導
- 建築協定制度の普及・啓発（平成 21 年度 34 地区）
- 不法屋外広告物対策の推進

#### ■不法屋外広告物対策の推進

- 不法屋外広告物対策の推進

#### ■環境美化の推進

- ポイ捨て等の防止の推進
- 枚方市アダプトプログラムの推進
- 不法投棄防止の監視・パトロールの実施
- 公園・緑地のアダプト制度の推進
- クリーンリバーの実施
- 歩きタバコ禁止区域の設定
- イエローカード作戦の実施

### 社会状況等の変化

#### ■市の動き

- 平成 14 年 8 月に「枚方市まち美化計画」を策定
- 平成 14 年 10 月に「枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例」を施行
- 平成 19 年 3 月に「第 2 次枚方市まち美化計画」を策定
- 平成 20 年 10 月に「枚方市路上喫煙の制限に関する条例」を施行



## (1 1) 歴史的文化的環境

### 環境目標

歴史的文化的環境を守り育てる。

### 実績

#### ■歴史文化資源の保全と活用

- 伝統産業（河内そうめん）の保存・活用
- 枚方宿地区の活性化
- 史跡禁野車塚古墳の整備
- 特別史跡百済寺跡の再整備
- 九頭神麿寺の保存・整備
- 重要文化財片埜神社本殿の保存・修理
- 旧田中家鋳物民俗資料館のリニューアル
- 「漢字のまち枚方」の発信
- 伝承文化の保存・継承
- ひらかた菊フェスティバルの開催

#### ■文化活動の振興

- 氷室地域の拠点施設の整備
- 総合文化施設の整備
- アートギャラリーの運営
- アートスポット、ふれあいホールの運営

## 【基本方針 循環を基調とする社会システムの実現】

ライフスタイルや事業活動を見直し、廃棄物の発生抑制と再使用・再生利用の促進、エネルギーの有効利用、水循環機能の確保など社会経済システムにおける物質の循環を促進し、環境への負荷の低減をめざした施策を展開します。

### (12) 廃棄物

#### 環境目標

ごみの発生抑制を徹底し、再使用・再生利用など、多様な資源循環の輪を広げ、焼却ごみの半減化をめざす。

#### 実績

##### ■廃棄物の発生抑制

- スマートライフの啓発
- ごみ減量ポスター等コンテストの実施
- 廃棄物減量等推進員制度の推進
- 事業系ごみ減量の指導
- 再生資源集団回収報償金制度
- ごみ減量講演会の開催

##### ■再使用・再生利用の促進

- ペットボトルの拠点回収
- 北河内4市リサイクルプラザの整備
- 家庭用生ごみ処理機への補助
- コンポスト・EMによる生ごみ堆肥化のモニター
- リサイクル工房の活用
- プラスチックごみの資源化の推進
- 水道施設内の剪定枝のチップ化
- 学校給食関係ごみの減量の推進

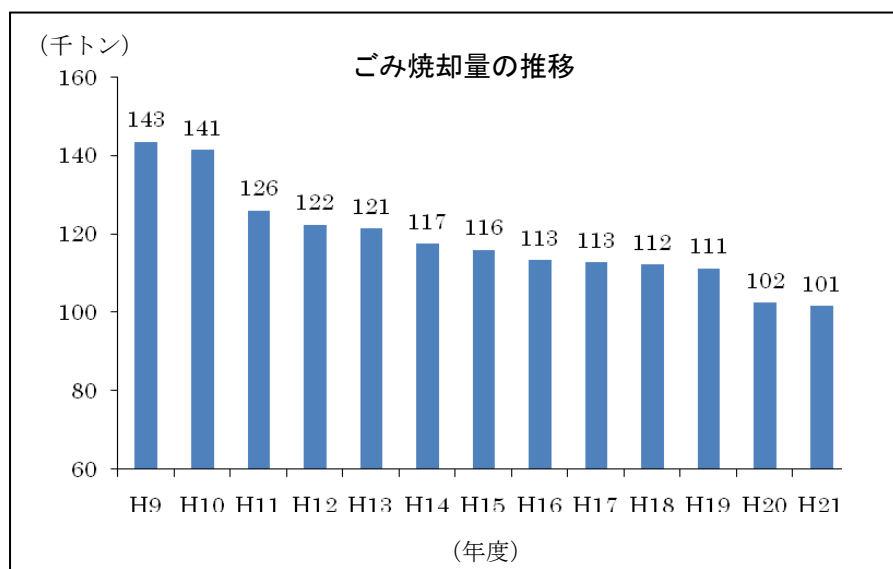
#### 社会状況等の変化

##### ■市の動き

- 平成20年2月に北河内4市リサイクルプラザが本格稼働
- 平成20年2月から全市域でペットボトル及びその他プラスチック製容器包装類を分別収集
- 平成20年12月に東部清掃工場が本格稼働
- 平成21年6月に「新・循環型社会構築のための枚方市一般廃棄物減量及び適正処理基本計画（改訂版）」の策定

## 進捗状況

○ごみ焼却量は平成9年度と比べて21年度は29%削減



## (13) エネルギー

### 環境目標

省エネルギーに努めるとともに、自然エネルギーを利用する。

### 実績

#### ■省エネルギーの推進

- エコ通勤の普及
- ライトダウンキャンペーンの実施
- ひらかたエコライフキャンペーンの実施
- 学校園フィフティ・フィフティ・プログラムの検討
- 枚方市既存住宅向け省エネリフォーム等補助事業の実施

#### ■自然エネルギー・未利用エネルギーの利用促進

- 公共施設への太陽光発電システムの導入（平成21年度240kW）
- 市民共同発電所への支援
- 廃棄物発電の導入（穂谷川清掃工場、東部清掃工場）

## 社会状況等の変化

### ■国・大阪府の動き

- 平成 15 年度から「CO<sub>2</sub> 削減／ライトダウンキャンペーン」をスタート
- 平成 17 年度から「COOL BIZ」「WARM BIZ」をスタート
- 平成 20 年度に「エネルギーの使用の合理化に関する法律」が改正

### ■市の動き

- 平成 16 年 3 月に「枚方市地域新エネルギービジョン」を策定

## (14) 水循環

### 環境目標

環境保全上健全な水循環を確保する。

### 実績

#### ■雨水の貯留・浸透機能の確保

- 透水性舗装の整備

#### ■効率的な水利用の促進

- 公共施設における雨水利用

## 【基本方針 地球環境の保全】

地球温暖化、オゾン層の破壊や森林の減少など地球規模の環境問題について、その解決に向けた具体的な行動を促進する施策を展開します。

### (15) 地球環境

#### 環境目標

二酸化炭素の排出量を減らし地球温暖化の防止に努めるなど、地球環境の保全に貢献する。

#### 実績

##### ■地球温暖化の防止

- 「枚方市グリーンニューディール基金」の創設
- ノーマイカーデーの推進
- 緑のカーテンの普及・啓発
- アイドリングストップの啓発
- 環境家計簿の普及・啓発
- 枚方市地球温暖化対策協議会への支援
- ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの構築・運用
- 市内の気温調査

##### ■酸性雨の防止

- 酸性雨の調査
- 公害関係法令等に基づき申請書類の審査や立ち入り検査を実施

##### ■森林の保護

- 枚方市里山保全活動補助金の交付
- 森林ボランティアの育成
- 津田山の整備

#### 社会状況等の変化

##### ■国・大阪府の動き

- 平成17年2月に「京都議定書」が発効
- 平成17年4月に「京都議定書目標達成計画」が策定され、平成20年3月に改定
- 平成18年4月に「大阪府温暖化の防止等に関する条例」が施行

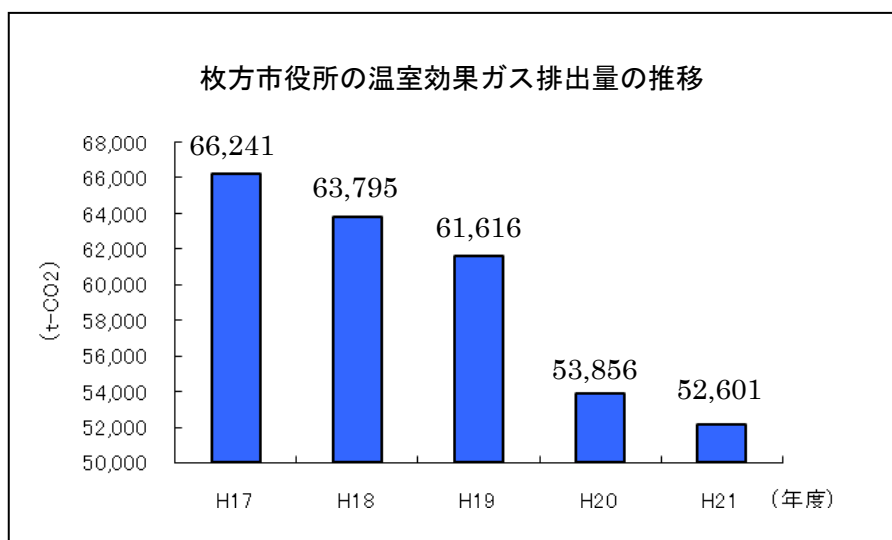
##### ■市の動き

- 平成15年6月に「枚方市東部地域里山保全基金」を創設
- 平成16年7月に「枚方市暑気対策指針」を策定

- 平成 16 年 11 月に「枚方市里山保全構想」を策定
- 平成 18 年 5 月に「枚方市里山保全基本計画」を策定
- 平成 18 年 5 月に「氷室地域まちづくり構想」を策定
- 平成 19 年 6 月に「枚方市地球温暖化対策地域推進計画」及び「枚方市役所 CO2 削減プラン」を策定
- 平成 21 年 4 月に「枚方市地球温暖化対策協議会」を設立

#### 進捗状況

- 枚方市役所の事業活動における温室効果ガス排出量は平成 17 年度と比べて 21 年度は 20.6%削減



### 【すべての主体の参加】

市民、事業者の環境保全に向けた行動を促進するために、環境教育・環境学習や環境情報の提供を行うとともに、環境保全活動の支援施策を推進します。

### 実績

#### ■環境教育・環境学習の推進

- 「枚方市環境教育・環境学習推進指針」に基づき取り組みを推進
- 「(仮称)環境教育推進会議」準備会の実施
- 枚方市学校版環境マネジメントシステム(S-EMS)の構築・運用
- こどもエコクラブへの支援
- 環境副読本の発刊

#### ■環境情報の提供

- 図書館のエコライフコーナーの開設
- 環境白書の発刊
- 環境会計の実施

#### ■環境保全活動の支援

- ISO14001等認証取得への補助
- NPO法人ひらかた環境ネットワークへの支援

### 社会状況等の変化

#### ■市の動き

- 平成18年9月に「枚方市環境教育・環境学習推進指針」を策定

#### ■市民団体の動き

- 平成16年2月に「ひらかた環境ネットワーク会議」が発足し、平成18年4月にNPO法人化